

研究に関するお知らせ

(研究の名称:有床総合病院精神科における入院集団精神療法の試み)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 精神科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。なお、疾患の影響等でご本人が意思を示すのが困難な場合、その代理の方のお申し出にも対応しております。代理の方とは、研究対象者の配偶者の方、ご両親、ご兄弟・姉妹、お子さん・お孫さん、ご祖父母、同居の親族の方を指し、未成年の方は除きます。

■研究目的・方法

入院集団精神療法(略称:「集団療法」)は、入院中の患者さん同士での対話や様々な活動を共有する中で、落ち込みなどの気持ち面の症状を和らげたり、対人関係の不安を軽減したりすることを目的とした治療法のことを言います。

当院の精神科では、2010年から、この「集団療法」の取り組みを開始し、2020年1月の病棟休床とともに終了致しました。総合病院の精神科で集団療法を取り入れている施設は少なく、この10年間の集団療法の取り組みで得た知見を、論文にまとめたいと考えています。

この研究では、以下の研究期間の間に、「集団療法」に参加された方をお願いしたアンケートの結果や、当時の担当看護師から見た、患者さんの入院中のご様子についての評価などの情報を診療録(カルテ)から収集・集計する形で調査を行います。そのため、患者さんに新たにご協力をお願いすることはありません。

■研究期間

研究期間:当院理事長承認後～2023年12月31日

研究対象期間:2010年10月6日～2019年12月25日

■研究の対象となる方

2010年10月5日～2019年12月25日までの間に、当院の精神科病棟(12階西病棟)に入院したことがある方のうち、「入院集団精神療法」に、一回以上参加したことがある20歳以上の方。

なお、「集団療法」とは、週に2回、入院中の患者さん同士で集まって、軽い運動や種々のアート、習字、季節の行事などに取り組んでいく会を指します。上記の期間に、当院精神科病棟(12階西病棟)に入院したことのある方のうち、そうした会に一度でも参加された経験のある方を対象としています。

■研究に用いる試料・情報の種類

以下の情報を、診療録(カルテ)から収集します。いずれの情報も、使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形でいきます。

■収集される情報:

参加当時の年齢、主傷病(入院のきっかけとなった傷病名)、集団療法参加時・退院時にご協力いただいたアンケートの結果、当時の看護師さんから見た入院中のご様子についての評価 など

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ以下に記したお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ以下に記したお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反について

本研究に、開示すべき利益相反は存在しません。利益相反の状況は、当院利益相反マネジメント委員会に報告され、その指示を受けて適切に管理されています。

■研究責任者:

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 精神科 加藤 温

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 精神科 心理療法士 中野 友貴
住所:〒162-8655 東京都 新宿区 戸山 1-21-1
電話番号:03-3202-7181(代表)

■掲示場所・交付場所

この研究のお知らせは、精神科外来の待合室に掲示されます。
また、当院精神科のホームページからも閲覧可能です。
ご希望される方には、このお知らせをお渡しすることもできますので、どうぞ上記のお問い合わせ先までお申し出ください。